

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

給水車による応急給水訓練を実施しました

令和5年7月13日（木）及び20日（木）におきまして、**給水車による応急給水訓練**を実施いたしました。

具体的には、給水車（※）から受水槽へ応急給水することを想定し、給水車1台を受水槽に見立て、もう1台の給水車からタンク内の水を圧送する訓練となります。

災害時などに受水槽を有する施設へ応急給水する際に有効な手段です。

なお、7月20日（木）の訓練においては、実動班員以外の水道事業職員も対象としており、総勢39名が参加しました。

次項以降に実際の訓練状況を掲載しています。

（※）上尾市では、給水車を2台（タンク容量2,000ℓ及び1,800ℓ）保有しています。



上尾市上下水道部庁舎敷地内にて全体説明。

応急給水の訓練状況

1. 消火栓より給水車タンク内に給水



給水車に設置されている蛇口を使用して、ポリタンクやバケツなどに給水することも可能です。



2. 受水槽を想定し、給水車より給水

受水槽側にある「給・排水口」にホースを接続します。



給水車のエンジン動力を利用して（圧送）して、受水槽のタンク上部から給水します。

※右側の給水車を「受水槽」に見立てて訓練しています。



安全な水道水をお届けするための、水質検査もしっかりと！！

実際に持つと意外に重たい水。リュックとして背負えば両手が自由になり安全、歩行も楽に！



6ℓ
(6kg)

令和5年6月1日（木）、8日（木）及び15日（木）において、**管洗浄（実技）訓練**を行いました。交差点内での漏水を想定し、指揮者の指示に従い、仕切弁操作4名、交通誘導員4名を1班として訓練を実施しました。

事前ミーティングで作業内容を確認



仕切弁の操作



水質確認



漏水している管路周辺の仕切弁を閉めて、止水を行います。（実際には、このあと修繕工事を実施）



工事により復旧された管路への充水及び管洗浄を実施し、水質確認で問題なければ完了となります。

交通誘導員を配置し、安全第一で作業



反復して実技訓練を実施することで、仕切弁操作の感覚などを養い、技術の定着と向上を図っていきます。

これにより、災害や事故発生の際に**「迅速に行動できる即応力」**を身につけます。

令和5年6月22日（木）に、「管洗浄」の方法についてシミュレーションを行いました。
11名が3班に分かれ、グループディスカッションにて管洗浄方法を検討し、発表を行いました。

考察発表
洗浄方法



11

図面から読み取れる《事実》と《想定》を基に、適切な管洗浄を実施するための作業手順を検討。

前項で紹介した、仕切弁操作で**技術**を、本講義では**知識**を習得！

漏水事故を想定し、グループディスカッションを実施



12



次回は令和5年8月、9月の活動内容を掲載する予定です